

えさきよしひで
江崎禎英の政策

令和2年12月

「人生100年時代の幸せのかたち」をつくる

～コロナの先にある素晴らしい岐阜県の未来の実現に向けて～

新型コロナウイルスの感染が再び拡大する中で、世界中がその戦いに明け暮れています。岐阜県においても、新型コロナ対策は、目下の最重要課題であり、分かり易く基本に忠実な感染対策を徹底しつつ、新たな技術を活用して日々変化する医療・経済状況の変化に的確に対応していかなければなりません。

さらに、私たちはコロナの先にある岐阜県の未来についても考えていく必要があります。岐阜県は、既に本格的な人口減少局面に入っています。また、同時に「人生100年時代」を迎えつつあり、それに合わせた私たちの人生の「幸せのかたち」を創り上げていく必要があります。

それは、子どもたちや若者に沢山の夢やチャンスがあると同時に、女性も、お年寄りも、障がいのある方も、外国籍の方も、それぞれの個性や強み、多様性が尊重され、誰もが健康で自分らしく生きがいを感じながら暮らすことができる「共生」の岐阜県を実現することに他なりません。それが可能となる環境を整え、「人生100年時代の幸せのかたち」を創るのが私の最大の政策です。

また、県民の皆様や中小企業を始めとする事業者の創意工夫を応援し、時代の変化を的確につかみ、人生を豊かにする新たな商品やサービスを生み出し発信するための支援を行います。これに加え、旧美山町で生まれ育った経験を活かし、過疎と高齢化が進む県内の小さな地域を大切に、市町村が地域資源を活かして取り組むまちづくりを全面的に支援し、県民・企業・地域の視点に立って、岐阜県の進むべき未来を創り出す「共創」の県政を実現したいと考えています。

そのために、県民の皆様の生活や仕事の現場に積極的に関わり、課題を掘り下げ、答えを見つけ、県民の皆様のアイデアや取り組みを大いに後押しし、共に進んでいくような「共進」の県政を目指します。

今、岐阜県はもとより、日本全体が新型コロナやその先にある未来に対する不安に包まれています。そこに新しい風を吹かせ、不安な空気を吹き飛ばし、ワクワクするような素晴らしい岐阜県の未来を、一緒に創り上げていきましょう。

令和2年12月 江崎禎英

I 「二つの命」を守る新型コロナウイルス対策

国において新型コロナ対策の最前線で従事した経験と、医療政策に携わってきた知識やネットワークを活かし、感染症対策と社会経済活動の両立を実現し、感染症によって失われる命と、経済的苦境から失われる命の、「二つの命」を守る対策を進めます。

1. 重症化リスクの高い方を重点的に守る感染症対策の実現

新型コロナウイルスに対しては、現在の予防体制・医療体制を点から面へと拡大するとともに、正しい知識の普及を徹底し、新たな技術を用いることで、対応策の空白を生むことなく、収束に向けた着実な取り組みを行います。

○救急・医療体制の確保に万全を期します

- ・病床・宿泊療養施設や人工呼吸器等の更なる確保を図るとともに、コロナ対応に従事する医療従事者や職員及びその家族に対するサポートを充実
- ・医師・看護師等の派遣や医療機器の融通、搬送先の確保等に関し近隣県と協定を締結し、中部圏広域での取組体制を構築

○高齢者や有病者を徹底してサポートします

- ・感染対策に必要な施設改修やオンライン面会システムの導入を通じて、医療機関や高齢者施設等の感染防止対策を強化
- ・体温等の自動計測システムを用いた、かかりつけ医による長期・継続的な健康管理体制を整備
- ・介護現場の職員へのサポートを充実

○県民一人ひとりが取り組む感染対策を正しくわかりやすく伝えます

- ・コロナの特性と、それを踏まえた納得感のある対策（マスク、手洗い、消毒、検温、三密の回避等）をわかりやすく伝え、効果的な取り組みを徹底

○万が一感染しても素早く対応し素早く復帰できるよう支援します

- ・県内のホテル等を確保し、陽性結果が判明した方を迅速に病院、ホテル、自宅等に搬送できるよう、市町村や医療機関等との連携体制を構築

○感染した方のプライバシーを守り、安心して日常生活を送れるようにします

- ・感染された方のプライバシーを保護するためのガイドラインを策定するとともに、日常生活への復帰に当たって何でも相談することができる「安心生活ホットライン（仮称）」を開設

2. 感染症対策を踏まえた「新たな日常」の実現

1. の感染対策の徹底を前提に、経済的苦境によって失われる命を守るため、新技術を駆使した「新たな日常」を実現し、経済活動の継続を可能にする取り組みを支援します。

○感染対策の新技術導入や県民の感染予防行動を推進し、地域の実情に応じたきめ細かく柔軟な飲食店等の営業時間の設定やイベント等の実施方法を支援します。

○社会経済活動を止めないための新たな取り組みを促進します

(モノづくり) 非接触、無人化、自動計測等の機器導入を支援

(ビジネス) テレワークの推進とこれを円滑に実施できる環境の整備

(商業) インターネットを活用した価値ある地元商品の販売・PR支援

(観光) オンライントラベル等観光の擬似体験と実際の特産品の試食等を組み合わせた魅力発信の推進

(教育) 全ての生徒に配布されるタブレット型パソコンを用いた、実体験とネット環境を併用した楽しくワクワクする学びの実現

(医療) 新たな技術を活用した、かかりつけ医による日常的な健康管理を主体とする医療サービスの確立

Ⅱ 人生 100 年時代の幸せのかたちをつくる

人生 100 年時代の到来を踏まえ、80 歳になっても、100 歳になっても、「今が一番楽しい」と感じられる社会モデルを実現します。また、子どもたちが自ら考える力を育み、若者や働く世代が多くチャレンジする機会を持ち、女性が安心してやりがいのある仕事に携わり、高齢者が生きがいを持ち続け、障がい者の権利が守られ活躍の場が与えられる、そうした岐阜県を作ります。

1. 子どもたちにたくさんの夢を～自ら課題を見つけ果敢に挑戦する人材の育成

○子どもたち一人ひとりに十分に向き合える教育環境を整えます

- ・デジタル技術を活用し、子どもたちがそれぞれのペースで学べる環境を整えることで、先生や職員の方々の負担を軽減し、一人ひとりに向き合える時間を確保

○教育現場と地域がつながる課題解決型教育を進めます

- ・地域や社会の課題を仲間とともに考え、その解決策を自ら見つけ出す力を育む教科横断的学習（STEAM 教育）の実践

○子どもたちの楽しくワクワクする学びを実現します

- ・本物の自然に触れる等、実体験と地域が支える教育環境の整備を行うとともに、インターネットを使って世界とつながる多様な学びの実現

○子どもの健康と成長を地域全体で支えます

- ・産前産後ケアの充実と、地域で支える子育て支援体制の整備
- ・子ども食堂、学童保育の充実・強化
- ・ひとり親家庭の就労・生活支援の充実

2. 若者や働く世代にたくさんのチャレンジの機会を～個性と強みを発揮できる柔軟な働き方の実現

○テレワーク、オンライン環境を整え、働き方を改革します

- ・半分出勤・半分自宅のように柔軟で多様な勤務体系の推進

○副業、多業を推進し、同時に複数の仕事を持つのが当たり前となる社会を構築します

- ・得意分野を活かした仕事をする等の副業を認める企業を支援

○都市部オフィスの県内移転を促進します

- ・ネット環境整備を行い、大都市圏からのサテライトオフィスの誘致を進めるとともに柔軟な働き場所の設置等を支援

○従業員の健康を増進し、安心して働ける職場をつくる健康経営を普及します

- ・大企業・中小企業と連携した健康診断・健康増進の取り組みを支援・拡大

3. 女性に安心とやりがいのある生き方を～家族との繋がりを保てる柔軟な働き方の実現

○女性が持つ感性と能力を発揮し、活躍できる環境をつくります

- ・女性がやりがいのある仕事を柔軟な働き方で対応できる、活躍し易い職場環境や業務体制の整備を促進

○子どもを産み育てやすい社会環境を実現します

- ・地域全体で子育てを応援する仕組みを作るとともに、育休中も仲間や会社とつながり続けられる環境を整備

○ロールモデルとなる女性たちと相互に交流・研鑽できる機会を作ります

- ・県内外で活躍する女性たちの生き方を学べるネットワークを充実

4. 高齢者にいつまでも生きがいを～地域や社会に貢献できる社会の実現

○65歳以上の方々の社会参画を阻む障壁を撤廃します

- ・「高齢者」の新たな定義を行うとともに、業種に応じた柔軟な働き方を実現し、65歳以上の方々の社会参画を促進

○還暦後の人生を充実させる学びの機会を提供します

- ・大学における成人／高齢者向けプログラムを充実するとともに、地域における生涯学習体制を整備

○高齢者の豊富な経験を子どもたちや若者に伝えます

- ・高齢者が指導者となり、経験や技術を伝承する講座の開催や地域活動を支援

○農林畜水産業を組み込んだ生涯現役の生き方を普及します

- ・農林畜水産業において高齢者が参加可能な業務体制を整備するとともに、人工知能やロボット等を用いて生産物の合理的な収集、運搬、選別等を実現

5. 障がいのある方に活躍の場を～個性を生かして輝ける地域の実現

○障がい者が誇りを持って活躍できる社会をつくります

- ・障がい者の権利を守りつつ、本人の「できること」を起点に、障がいのある方が自分の能力を発揮し、誇りと生活力を持てる体制を整備

○障がい児者支援に携わる人材の育成に取り組みます

- ・医療・福祉人材から看護師、セラピスト、相談支援専門員等、幅広い人材を育成できる研修支援体制を整備
- 乳幼児期から高齢期まで、障がい者の生涯をサポートできる相談体制を作ります
 - ・切れ目なく、人生全体を一貫して支援できる相談体制を地域レベルで構築
- 親亡き後の人生をサポートできる体制を整えます
 - ・グループホーム、ケアハウス等、親亡き後の人生を安心して過ごせるサービスの提供体制を整備

6. 人生 100 年時代の医療・介護サービスの確立

- 治す医療から予防する医療への流れを加速します
 - ・高齢者を中心に、かかりつけ医の普及を徹底
 - ・日常の生活データを自動的にかかりつけ医に送る健康管理システムの構築
 - ・美味しいものを食べ、楽しく活動し、大いに笑う地域活動の支援
 - ・がんや認知症になっても日常生活を維持できる医療・福祉サービスの実現
- 要介護や認知症で施設に入っても仕事や役割を持ち続けられる環境を整備します
 - ・仕事付き高齢者向け住宅（「シ高住」）の設置
 - ・新たな技術を駆使した安心な見守りの仕組みづくり
 - ・認知症になっても社会から切り離さない支援体制づくり
- 人生の最期を住みなれた場所で過ごすための在宅医療・介護を強化します
 - ・在宅医、訪問看護・訪問ヘルパー等の在宅支援職種の確保
- 医療・介護人材の確保を強化します
 - ・地域枠の活用を通じた地域医療の医師確保を強化
 - ・外国人介護職・看護職の育成を県下全域に拡大
 - ・医療従事者の人材確保と人材育成を積極的に推進

Ⅲ. 力強く安定感があり、環境にも配慮した経済の実現

地域の魅力や資源を生かし、デジタル技術を活用することで、力強く持続可能な経済社会を実現します。ここでは、時代と顧客のニーズに合わせた良いモノ、良いサービスを生み出し、付加価値を高める経営へと転換していくための支援を徹底し、力強く安定感があり環境にも配慮した経済システムを実現します。

1. 地域や国内に軸足を置いた製造業の再構築と、それを支える基盤の整備

○交通網の整備を通じ、立地を生かした企業誘致を推進します

- ・東海環状自動車道、濃飛横断自動車道等の整備を行うとともに、良質な工業用地を確保し、企業誘致を強化
- ・国の事業を活用した新たな設備投資、事業拡大等を徹底サポート

○リニア中央新幹線を活用し、2拠点の経済活動を推進します

- ・企業誘致や豊かに過ごせるサテライトオフィスの設置、高齢者施設の整備等により、2拠点の経済活動や生活スタイルを実現

○景気変動や災害に強い取引環境を実現します

- ・地域の特性を活かした取引ネットワークの構築、調達、供給先の多重化

○大規模災害や感染症に備えた事業継続の構築

- ・訓練を主体とした実践的なBCP（事業継続計画）の策定支援

2. 顧客の心をつかむモノづくり、商業、サービス業の拡大

○地域を拠点とする高付加価値産業群を育成します

- ・各地域の魅力を活かした商品開発と地域内生産、販路拡大を支援

○消費者のニーズを捉え、モノづくりやサービスに活かし、情報発信できる支援を強化します

- ・中小・小規模企業に寄り添い、消費者の変化を捉え、共に考える相談支援体制を充実

○首都圏・海外への販路拡大を支援します

- ・高価格で利益幅の大きい商品を富裕層の多い首都圏や海外に開発・販売できるルートを開拓

○ネット販売、クラウドファンディング等を活用した地域外市場の開拓を支援します

- ・地域を超え、全国・世界に直接ネットを通じて販売するための技術を磨き、事業者が相互に交流できる体制づくりを支援

3. 経営改革を主眼に置いたデジタルトランスフォーメーションの推進

- オンライン環境を整えるための地域ネットインフラを強化します
 - ・テレワークやオンライン会議等が快適に行えるネット環境と拠点の整備
- 中小企業の強みを伸ばし、弱みを克服するためのIT経営支援を強化します
 - ・ソフトピアジャパンに集積した企業等と連携し、ITを活用した中小企業のかみめ細かな支援を拡大
- AI（人工知能）を活用した最先端の生産環境を実現します
 - ・効率的な収集・配送を可能にするAI（人工知能）を活用した物流インフラの整備や、生産管理の合理化で競争力を向上

4. 地域資源の掘り起こし・開発を通じた持続可能な観光誘客の拡大

- 地域資源の掘り起こしと観光資源化を通じて、新たな岐阜県の魅力をつくります
 - ・市町村や地域と連携し、地域の食、歴史、文化等に光を当て、新たな地域の魅力を作り、オンライン等を通じて効果的に県内外に発信
 - ・かつての岐阜県の繁栄のシンボリック存在であった柳ヶ瀬を、若者からお年寄りまでが集い楽しめる新たな拠点として再生
- VR（仮想現実）やオンラインツアー等、疑似体験を通じた魅力発信を進めます
 - ・オンライン等を通じて、「いつかは本物を」の意識を高め、誘客を促進
- 自然を活かした健康づくりを観光資源とするヘルスツーリズムを推進します
 - ・山歩きと薬膳料理など、食と運動を組み合わせ、AI（人工知能）やセンサーを用いた効果的で魅力あるヘルスツーリズムの実現

5. 付加価値の高い農・林・畜・水産業の実現

- 魅力ある生産システムの開発と、新規就農者の生活の安定を実現します
 - ・AI、ロボットを活用したスマート農林業を推進
 - ・地域と連携した農業研修を拡大し、農業の担い手を確保
 - ・新規就農者の生活を安定させるための支援を拡充
- 農業：手間暇かけた高付加価値の商品を消費者に届ける仕組みを作ります
 - ・小ロットで個性ある農産物を的確に消費者に届ける仕組みを構築
 - ・センサーやAI、ドローンを用いた効果的な鳥獣害対策を推進
 - ・自然と関わりながら、学びや健康づくりができる観光農林畜産業を推進
 - ・県全体を花でいっぱいにする運動を通じた花き産業の振興

○林業：災害に強い森林づくりと持続可能な林業を構築します

- ・高性能林業機械・ICTの導入促進を通じた省力化・生産性向上を支援
- ・計画的な路網整備や間伐、治山事業の推進により、災害に強く、豊かな森林を維持・発展
- ・林業の新規就業者の確保や育成、労働災害の軽減を支援
- ・県立森林文化アカデミーと林業事業体・木材産業等との連携を強化
- ・県産材を使った建物の建築支援や木材の輸出促進を通じた需要拡大の支援
- ・再生可能エネルギーへの転換も含めた間伐材の利用の徹底

○畜産業：防疫を徹底し、品質の高い畜産物を育てます

- ・豚熱、鳥インフル、口蹄疫等の家畜伝染病防疫体制を強化
- ・飛騨牛の血統を守り、全国トップブランドへ向けた改良を支援
- ・ブランド豚肉、地鶏等の開発・販路開拓を推進

○水産業：水産資源を守り、ブランド力を高めます

- ・鮎を始めとする県下の淡水魚をブランド化し、販路を拡大

6. 自然を活かしたCO2 排出量実質ゼロの実現

○岐阜県の豊富な水と森林を生かし、再生可能エネルギー王国を目指します

- ・小水力発電所、木質バイオマス利用施設等の設置を支援し、関連企業を誘致・育成

○再生可能エネルギーを抜本的に普及・拡大するための技術導入や体制整備を行います

- ・県に「エネルギー・環境局（仮称）」を設置し、再生可能エネルギーの抜本的拡大に向けて、県内の市町村、企業、大学等と一体となって取り組む体制を構築するとともに、新技術の導入を支援

○太陽光、燃料電池等と住宅の省エネ化を組み合わせたエコ住宅を普及します

- ・再生可能エネルギーや新技術を活かした脱炭素住宅モデル等の開発・普及

IV. 災害に強い岐阜県づくり

近年、県内では度重なる豪雨により、毎年のように各地に甚大な被害が出ています。また、東海・東南海地震のリスクも高まっている中で、災害に備えた県土づくりとともに、県民が自ら進んで避難し、人的被害を出さないようなソフト対策を同時に進め、災害に強い地域をつくります。

1. 度重なる豪雨災害や東海・東南海地震に備えたハード整備とソフト対策

- 豪雨・豪雪に迅速に対応できる体制を整備します
 - ・豪雨・豪雪に対して早め早めの対応が可能となるような業務委託の実現と、重機の維持が可能となる支援策の整備
- 河川・砂防・治山事業を着実に推進し、安全度を高めます
 - ・河道掘削や堤防改修、きめ細かな砂防堰堤の整備と治山事業を一体的に推進
- 水害等に備えた新たな住宅の開発・普及を支援します
 - ・水害に強い住宅の開発や高齢者配慮改修を支援
- 精緻な気象予報提供体制・防災情報発信の体制を強化します
 - ・気象庁や市町村との緊密な連携による早く正確な予報の提供
 - ・防災行政無線やケーブルテレビ、SNS等による情報発信を支援
- 東海・東南海地震時に備えた近隣県連携を強化します
 - ・愛知、三重等からの被災者受入を前提に、空き家を活用した防災対策と地域交流を推進

2. 災害対策の中心となるリーダーを養成し、地域防災体制を強化

- 防災士を県下全域で育成し、県民が主体となった防災・減災体制作りを進めます
 - ・県下全域での育成講座の開催と、継続したスキルアップの支援
- 消防団・水防団員の確保を強化し、効果的な訓練体制を構築します
 - ・消防団・水防団入団支援策を拡大するとともに、新たな技術を活用した訓練体制を構築
- 楽しみながら災害への備えができるような防災訓練を実施します
 - ・新技術を用いた体験型の避難訓練等、子どもからお年寄りまで興味が持てる効果的な訓練の仕組みを構築

V. 伝統を守りつつ、新たな文化・芸術を創造・発信

豊かな自然環境と並んで岐阜県の大きな魅力である地域の伝統文化を守り、新たな担い手を増やすことによって、新しい価値と魅力のある文化・芸術を創造し、県内外に発信します。加えて、スポーツを通じ、高齢者や障がい者、外国人を含む誰もが地域と交流し、健康的な生活を送れる環境を整備します。

1. 伝統文化の継承と新たな文化・芸術の創造・発信

- 伝統文化の魅力を効果的に発信し、集客を通じて長く受け継がれる仕組みを作ります
 - ・岐阜県各地に継承される地歌舞伎等の伝統を受け継ぎ、掘り起こしつつ、リアルとオンラインの双方を通じた効果的な発信・集客を行うことで、若者たちが伝統文化に誇りを持ち、受け継がれる仕組みを構築
- 文化・芸術の新たな担い手を育成します
 - ・文化・芸術を創作するクリエイターが集まる場所を作り、様々な世代の交流を通じて次世代の担い手を育成
 - ・「18歳までに岐阜に恋をしよう！」をスローガンに、岐阜の伝統文化や芸術を若者たちの視点で更に発展
- 県民が若い世代の文化の魅力を共有できるようにします
 - ・マンガ、アニメ、ゲームに加え、それに留まらない新たな表現・発信の方法や、若者の自由な発想を開花させる環境を整備

2. スポーツを通じた地域交流と健康づくりの推進

- 県有スポーツ施設等を活用した地域のスポーツ行事をサポートします
 - ・岐阜メモリアルセンターやOKB岐阜清流アリーナ等の県有スポーツ施設を始めとする公共・民間の施設を使い易くするための取り組みを支援
- 県民が気軽に親しめるスポーツ大会の開催を通じた県民の健康づくりを支援します
 - ・オリンピック・パラリンピックの熱気を共有しつつ、県内のマラソン大会やスポーツ大会、レクリエーション等に気軽に親しめる機会づくりを支援
- アスリートの発掘・育成を継続的に支援します
 - ・アスリートのすそ野を広げるとともに、岐阜県スポーツ科学センターを活用し、科学的観点からトップアスリート及び指導者の発掘・育成を支援

VI. 行財政運営

コロナ禍の教訓を踏まえ、徹底したデジタル化を推進することにより、行政手続のみならず、企業活動との連携の効率化を図ります。また、財政健全化を進めるとともに、全ての県職員の強みと能力を引き出し、県民に寄り添い、親しまれる県政を実現します。

1. 財政の健全化

○効果的なコロナ対策に取り組み、財政健全化との両立を図ります

- ・ 個々の地域や業種に応じたきめ細かい対策を市町村と連携して実施し、重点的に予算を配分

○政策の組み合わせにより、効率的な予算執行を行います

- ・ 県民生活に密着した課題への対応を重視し、予算と制度の組み合わせにより効率的に政策を実行
- ・ 国のモデルとなるような政策を実施し、国の予算を徹底して確保・活用

2. 県組織の運営

○県職員の強みを生かし、モチベーションを上げる組織運営を行います

- ・ 職員が自ら問題意識を持ち、自ら行動する環境を整備することで、全ての県職員の可能性を最大限に引き出す

○現場主義と県民対話を組織のすみずみまで浸透させます

- ・ 県民生活の現場への密着と、市町村との連携の下に、県民との対話を徹底し、地域の課題と答えを同時に見つける組織文化を構築

○県内企業の模範となるような健康経営を実施します

- ・ 職員の健康づくりへの支援を行うとともに、時間外勤務を縮減し、心身の健康を向上させる県庁内の健康経営を実現

○県民サービスをより効率的に行うためのデジタル化の推進を行います

- ・ 政策課題を再点検し、デジタル化によって効率性が確保できる業務を洗い出し、効率的な行政サービスを実現